

## 緑旧庄屋屋敷



## 《尾崎庄屋屋敷》

江戸時代1682年、宇和島藩の初代の代官・友岡栄治は、二神氏を緑地区の代官に任命した。尾崎の庄屋さんは、それを二神氏から受け継いだものと考えられている。本当は、平城の近藤という人が初代の庄屋さんであったと言われている。代が変わっていく上で上緑の岡本さんが、庄屋を営んでいたとのこと。そして、尾崎の庄屋さんになったと言われている。尾崎の庄屋さん、1代目は、本滄さん。2代目は、又左衛門さん。緑小学校元校長先生の尾崎先生で6代目になった。庄屋さんは、現在の役場の役割をしていた。1682年に今の尾崎氏に受け継がれていた。この建物は、天明元年（1781年）に建てられたそう。この建物を立てたのは、尾崎家初代の庄屋である尾崎正右衛門本蔵が建てたと言われている。

---